

広報・教育部門

応募事例名

市制100周年記念デザインマンホール蓋と マンホールカードで下水道をPR

応募団体名)千葉市

応募事例の概要

千葉市は、大正10年（1921年）1月に市制を施行してから、令和3年（2021年）で100周年を迎えました。

これを記念して、次の5つのマンホール蓋を作成し、下水道のPRを行っています。



「かわうそ一家」



「かそりーぬ」



「ちはなちゃん」



「初音ミク」^{©CPM}
マンホールカード

「かわうそ一家」は、きれいな川や海の復活を願った、千葉市下水道のイメージキャラクターです。

「かそりーぬ」は、国の特別史跡に指定された加曽利貝塚のPR大使です。

「ちはなちゃん」は、市の花であり、世界最古の花「オオガハズ」をイメージしたキャラクターです。

「初音ミク」は、「千葉市章」と似ていると話題になったことをきっかけに奇跡のコラボレーションを遂げ、誕生したデザインをマンホール蓋にして、マンホールカードも作成しました。現在は、幕張観光情報センターでカードを配布しており、千葉市下水道のPRにも活躍してくれています。



千葉市章

PRポイント

- ・色鮮やかなマンホール蓋で、下水道や千葉市の魅力を発信できた。
- ・「初音ミク」マンホールカードを配布し、マンホール蓋の見学者に喜ばれた。



下水道企画部長
高梨 雅和

取組みに関するエピソード

千葉市では「応募事例の概要」で紹介したもの以外にも、魅力的でかわいらしいキャラクターがたくさんいて、どのキャラクターでマンホール蓋を作成するか、とても悩みました。「初音ミク」のマンホール蓋はカードも作成。マンホール蓋の見学に来たお客様に喜んでいただけたので、苦労が報われました。